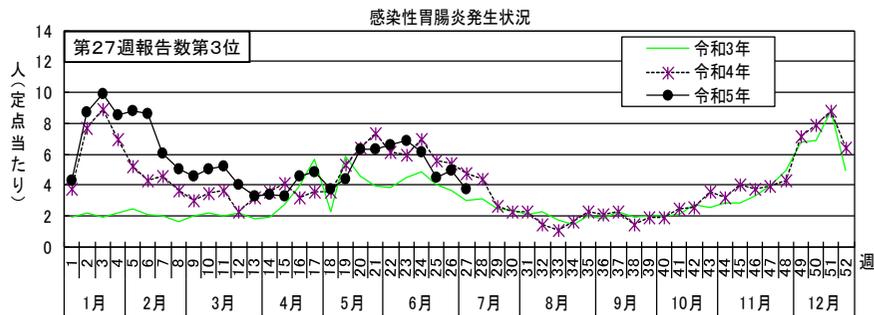
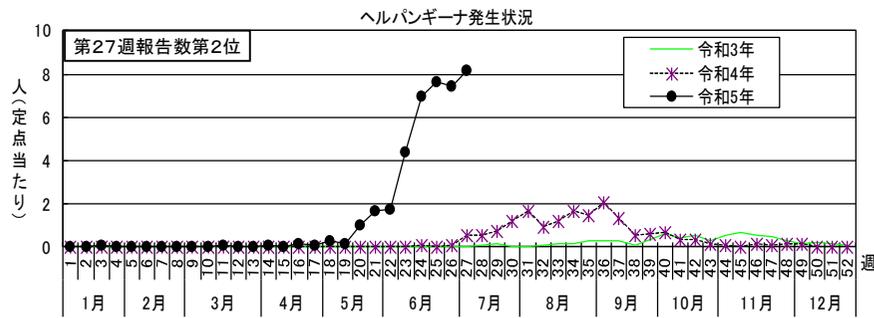
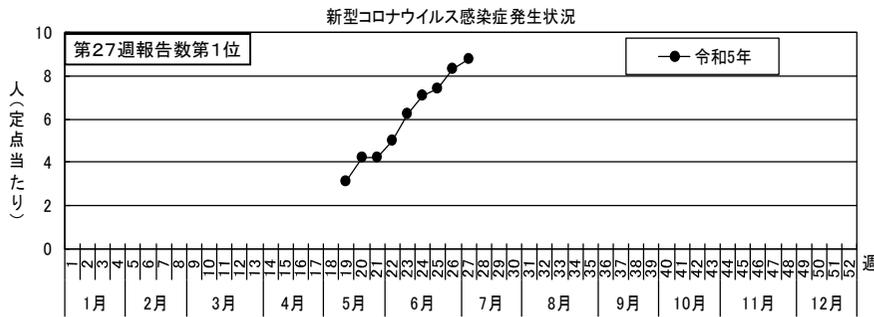


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

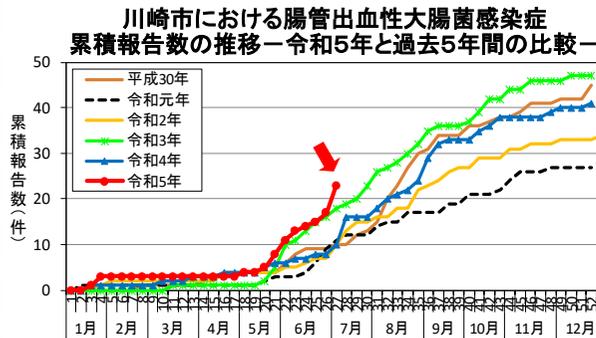
令和5年7月3日（月）～令和5年7月9日（日）〔令和5年第27週〕の感染症発生状況

第27週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 新型コロナウイルス感染症 2) ヘルパンギーナ 3) 感染性胃腸炎でした。新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は8.75人と前週（8.33人）から横ばいでした。ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は8.14人と前週（7.46人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.76人と前週（4.97人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。



腸管出血性大腸菌感染症の報告数が急増しています！

川崎市における令和5年第27週（7月3日～7月9日）の腸管出血性大腸菌感染症の報告数は6件と、1週間当たりの報告数が過去5年間と比較して最大の件数となりました。加熱不十分な肉の喫食が原因と推定される事例も報告されているため、肉を喫食する際には、生や加熱不十分な肉は避け、よく焼いてから食べるように心がけましょう。



腸管出血性大腸菌感染症とは？

【感染経路】

- ・菌に汚染された食品などによる経口感染
- ・患者の便を介した二次感染
- ※食事前や排便後などには手洗いを徹底する。

【潜伏期間】

2～14日間（平均3～5日間）

【症状】

激しい腹痛、水様性の下痢、血便

【合併症】

溶血性尿毒症症候群（HUS）、脳症

【食中毒の予防対策】

ー肉編ー

生肉や加熱不十分な肉は食べない。



肉は中心部までよく焼いて食べる。
（中心温度75℃、1分以上）



肉を焼く際には、専用のトングや箸を使用する。



ー野菜編ー

野菜は流水でよく洗ってから食べましょう！

特に生で食べる野菜や葉菜類はよく洗う。

トマトやきゅうりなど

レタスやサラダ菜など

ブロッコリーやカリフラワーなど

形が複雑な野菜は熱湯で湯がくと効果的